

## モンタナ幼稚園関係年表

1915（大正 4）	聖母訪問会の誕生
1921（大正 10）	日本での活動をはじめ
1926（大正 15）	材木座辻の借家にサナトリウム開設 （翌年 1 月に大町に移る）
1929（昭和 4）	「聖テレジア七里が浜療養所」開所 （現・聖テレジア病院）
1930（昭和 5）	横浜若葉町に「聖ミカエル天使園」開園 「鎌倉聖母園」（大町）にシスター派遣
1942（昭和 17）	「モンタナ修道院」設置
1944（昭和 19）	「腰越戦時保育園」開園
1946（昭和 21）	「聖母園」に改称
1954（昭和 29）	創立者ブルトン神父（パリ外国宣教会）死去
1955（昭和 30）	「モンタナ幼稚園」園舎新築
1957（昭和 32）	「学校法人モンタナ学園」設立 （モンタナ幼稚園創立記念日）
1976（昭和 51）	モンテッソーリ教育導入
1988（昭和 63）	通園バスの運行開始
1992（平成 4）	新園舎建設（現在の園舎）

※『マリアとともに急ぎ山地を』より、今回の展示に関連する内容を抜粋

## モンタナ幼稚園の設立

モンタナ幼稚園の前身は、1944（昭和 19）年に設置された「腰越戦時保育園」である。聖母訪問会（当時は日本訪問童貞会）が横浜若葉町（現在の横浜市中区）に開いた「聖ミカエル天使園」（1930 年開園）の子どもたちの疎開を受け入れるとともに、地元の子どもたちを集めての保育がおこなわれた。

聖母訪問会は誕生初期から、幼児教育や保育活動に携わった。日本では 1921 年東京府荏原郡大井出石（現在の大田区）に「訪問園」（のち大森英和幼稚園）を設立したのが始まりである。また大町の「鎌倉聖母園」（1930 年開園、戦時中に閉園）にもシスターを派遣していた。

戦後も保育を継続し、1946 年には「聖母園」と改称した。近隣に幼稚園がなかった時代、入園希望者は多く、モンタナ修道院が近隣の地主から購入した土地をあて、シスターたちが田畑を整地して、木造の幼稚園舎を造ったという。



「聖母園」第 1 回終了記念写真（1947 年 3 月 18 日）

## モンタナ幼稚園のあゆみ

1955 (昭和 30) 年には、園舎が完成した。「モンタナ幼稚園」という名前になったのはこの時期である。さらに 1957 (昭和 32) 年には、「学校法人モンタナ学園」が設立され、宗教法人から移行した。モンタ



1955年に落成した園舎

ナ幼稚園では、この時を園の設立記念日としている。

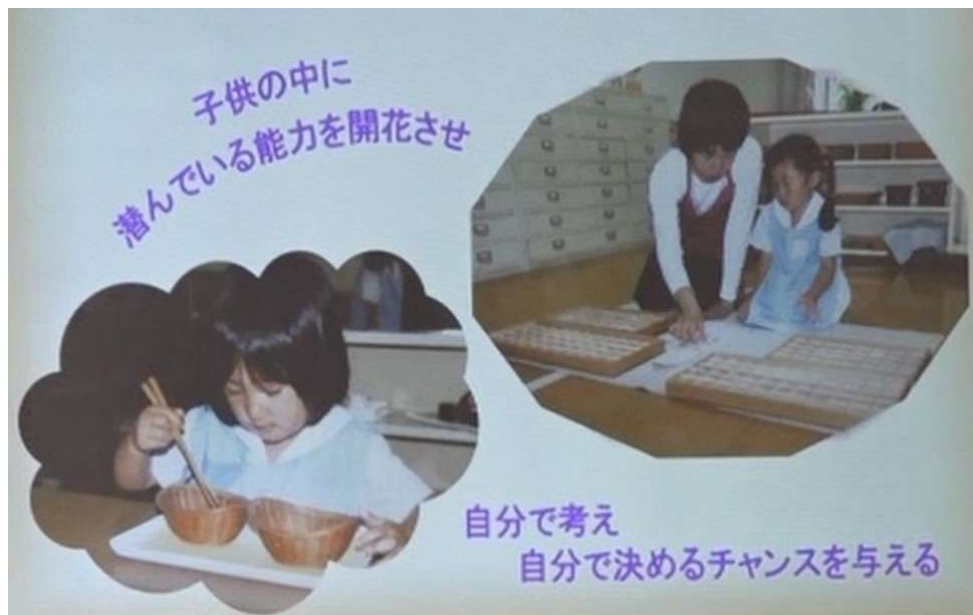
設立当初、園の職員は聖母訪問会のシスターまたは修道生活志願者に限られていた。入会してから幼稚園教諭や看護師の資格を



とるシスターも多かった。しだいに一般の職員も受け入れ始めたが、2019年までは、幼児教育に長年関わり、知識を持つシスターが園長を務めていた。

モンタナ幼稚園  
は、モンテッソー  
リ教育を早くから  
導入した園として  
も知られる。

子どもの「敏感  
期」に適切な環境



を用意し自己教育力を育むというモンテッソーリ教育を始めたのは 1976 年、その頃にはシスターたちが本場イタリアに行って勉強したという。本格的に導入するのは大変なことで、教具をそろえなければならず、また 2 年間ほど勉強して国際免状を取る必要もあった。園では免状を取るためのお金を出して、先生たちを学校に通わせていた。

近所の子どもたちがほとんどだったころは、シスターたちが子どもを連れて腰越や西鎌倉へと送っていったが、しだいに、モンテッソーリ教育を望んで子どもを入園させる親も増えたこともあって、遠くから通う子どもも多くなってきた。そこで 1988 年には、修道院の畑をバス駐車場にして、通園バスの運行が始まった。

※モンタナ修道院のシスターにお話をお聞きし、モンタナ幼稚園創立 60 周年記念の DVD を提供していただきました。感謝いたします。